

平成28年12月22日提出

教育委員会議 議題2 別冊2

平成28年度

「基礎・基本」定着状況調査

中間報告書

各教科の平均通過率及び全体的な傾向

実施期日及び調査対象学校数等

平成28年6月7日(火)

学年	調査実施校数	集計対象者数
小5	141校	10,384人
中2	64校	9,162人

平均通過率

校種	小学校			中学校			
	国語	算数	理科	国語	数学	理科	英語
平成27年度	72.1	69.1	62.5	71.4	68.0	47.5	64.8
平成28年度Ⅰ	64.4	71.3	63.1	69.1	67.0	51.1	69.0
平成28年度Ⅱ	30.4	50.3	42.7	57.5	54.9	46.6	50.2
平成28年度全	59.8	66.3	55.9	66.9	64.3	49.2	66.1

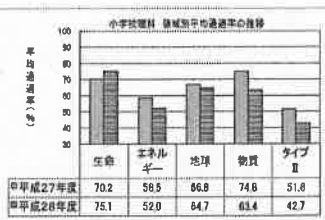
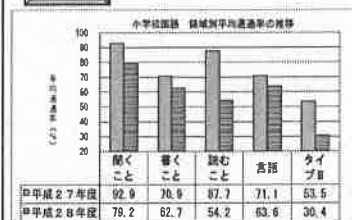
通過率別の児童生徒の割合

校種	教科	小学校			中学校			
		国語	算数	理科	国語	数学	理科	英語
通過率80%以上の割合(%)	H27	51.4	52.7	22.1	45.4	45.0	8.2	31.2
	H28	22.8	44.4	21.0	34.9	30.5	12.8	36.7
通過率60%以上の割合(%)	H27	82.6	80.1	66.7	82.2	72.3	26.6	66.3
	H28	59.1	74.2	60.2	68.5	64.2	32.8	66.2
通過率30%未満の割合(%)	H27	3.1	2.1	4.5	1.6	6.5	20.0	5.1
	H28	5.0	3.9	3.4	5.2	6.3	19.1	3.9

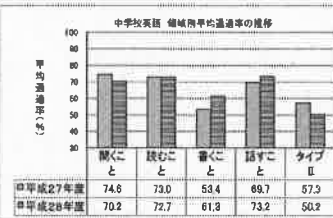
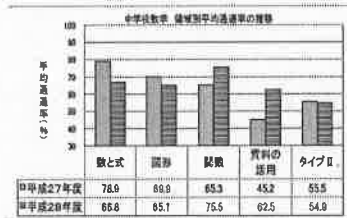
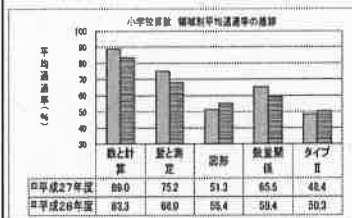
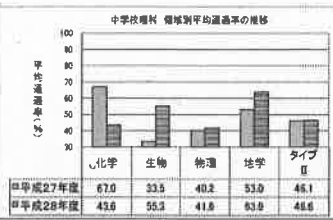
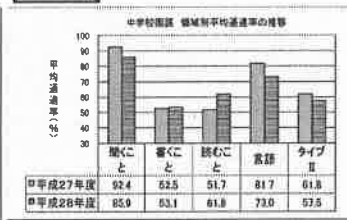
○ 中学校国語、算数・数学、英語については、平均通過率が60%を上回っている。
○ 中学校理科については、平均通過率が50%を下回り、通過率30%未満の児童生徒の割合が、高くなっている。

各教科の領域別平均通過率

小学校

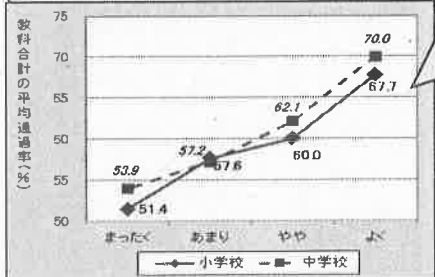


中学校



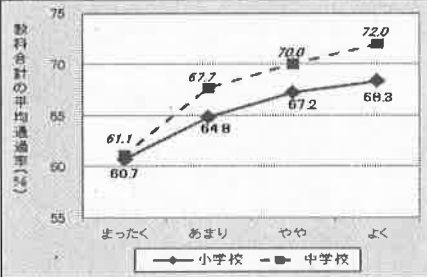
生活と学習に関する意識・実態調査と通過率との関連

毎日朝食を食べています。



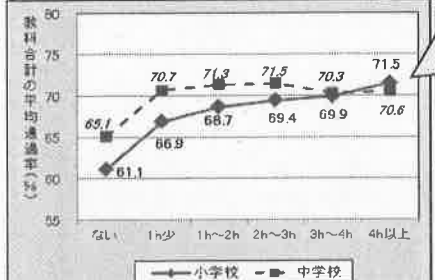
基本的な生活習慣に関する設問について、肯定的な回答をした児童生徒の方が、通過率が高い傾向が見られる。

学習の振り返り、「もっと考えてみたい、調べてみたい、工夫してみたこと」などを考えています。



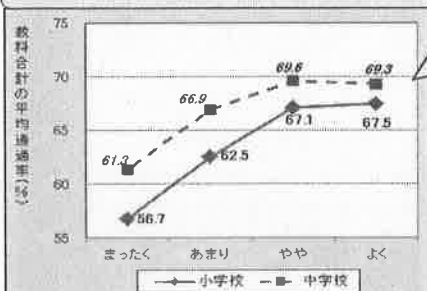
日頃から思考し、表現する習慣が身に付いている児童生徒ほど、通過率が高い傾向がある。

1週間(土曜日・日曜日を含む)、家庭で、何時間くらい読書をしていますか。(教科書や問題集、漫画、雑誌をのぞきます)



読書に関する設問について、肯定的な回答をした児童生徒の方が、通過率が高い傾向が見られる。

努力すれば、自分もたいていのはできると思います。



自己効力感を感じている児童生徒の方が、通過率が高い傾向が見られる。

I 調査の概要

1 調査の趣旨

- (1) 学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な知識・技能の定着状況とともに、思考力、表現力などの状況を把握する。
- (2) 児童生徒の生活や学習に関する意識や実態及び各学校における教科指導等の実態を把握する。
- (3) 各学校が全県的な結果と比較・分析することを通して、自校の課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。
- (4) 調査結果を基に児童生徒の学習の到達度を明らかにし、教育行政施策に生かす。

2 調査対象

学 年	調査実施校数 (校)		集計対象者数 (人)	
	県	市	県	市
小学校第5学年	481	141	23,240	10,196
中学校第2学年	242	64	21,442	9,059

3 調査期日

平成28年6月7日(火)

4 調査内容(実施教科等)

小学校第5学年

- ① 国語、算数、理科における前学年までの学習内容の定着状況調査
- ② 生活と学習に関する意識・実態についての児童質問紙調査
- ③ 指導方法等についての学校質問紙調査

中学校第2学年

- ① 国語、数学、理科、英語における前学年までの学習内容の定着状況調査
- ② 生活と学習に関する意識・実態についての生徒質問紙調査
- ③ 指導方法等についての学校質問紙調査

5 調査問題の種類

- タイプⅠの問題
教科で身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼすなど基礎的・基本的な内容
- タイプⅡの問題
教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などに係る内容

6 語句の説明

語 句	説 明
正答	正しい答え
準正答	完全な誤りではなく、正答として考えられる答え
誤答	完全に誤った答え
通過率	正答または準正答であった児童生徒の割合
誤答率	誤答であった児童生徒の割合
無答率	無解答であった児童生徒の割合
通過率○%以上	教科全体の設問数を100%として、その○%以上の設問を通過しているということ
平均通過率	設問ごとの通過率を領域や教科全体等で平均した割合
通過設問数	児童生徒が各教科で通過した設問数

Ⅱ 調査結果の分析及び考察

1 全体的傾向

平均通過率の経年比較

【小学校】

教科	国語						算数					
	タイプⅠ		タイプⅡ		教科全体		タイプⅠ		タイプⅡ		教科全体	
	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市
平成 25 年度	77.2	73.2	38.2	70.1	66.7	66.0	70.1	66.7	68.1	66.4	69.8	66.7
平成 26 年度	73.9	70.5	62.2	59.5	71.8	68.5	79.7	75.5	69.8	68.4	78.0	74.2
平成 27 年度	78.3	76.3	58.3	53.5	74.7	72.1	78.5	75.5	49.4	48.4	71.6	69.1
平成 28 年度	68.0	64.4	36.7	30.4	63.7	59.8	74.9	71.3	52.0	50.3	69.4	66.3

教科	理科					
	タイプⅠ		タイプⅡ		教科全体	
	県	市	県	市	県	市
平成 25 年度	63.9	60.2	56.8	53.8	61.3	57.9
平成 26 年度	73.9	71.5	63.5	61.4	70.6	68.3
平成 27 年度	69.7	67.1	55.0	51.6	65.3	62.5
平成 28 年度	68.1	63.1	46.7	42.7	60.6	55.9

【中学校】

教科	国語						数学					
	タイプⅠ		タイプⅡ		教科全体		タイプⅠ		タイプⅡ		教科全体	
	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市
平成 25 年度	73.7	70.6	63.7	61.9	71.7	68.8	72.7	68.8	51.2	47.8	69.0	65.1
平成 26 年度	73.8	70.6	73.5	70.4	73.7	70.6	73.9	70.8	52.7	48.8	70.2	67.0
平成 27 年度	75.7	73.8	64.8	61.8	73.6	71.4	74.2	71.7	57.2	55.5	70.4	68.0
平成 28 年度	71.8	69.1	60.6	57.5	69.7	66.9	69.6	67.0	57.3	54.9	66.8	64.3

教科	理科						英語					
	タイプⅠ		タイプⅡ		教科全体		タイプⅠ		タイプⅡ		教科全体	
	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市
平成 25 年度	45.8	42.4	26.1	23.8	39.9	36.8	74.4	70.1	63.2	59.0	72.1	67.8
平成 26 年度	59.8	56.6	47.9	45.0	55.0	51.9	72.5	67.4	51.8	46.8	68.2	63.1
平成 27 年度	51.0	48.4	49.1	46.1	50.2	47.5	70.2	66.7	60.6	57.3	68.2	64.8
平成 28 年度	54.4	51.1	48.3	46.6	51.8	49.2	72.6	69.0	53.0	50.2	69.6	66.1

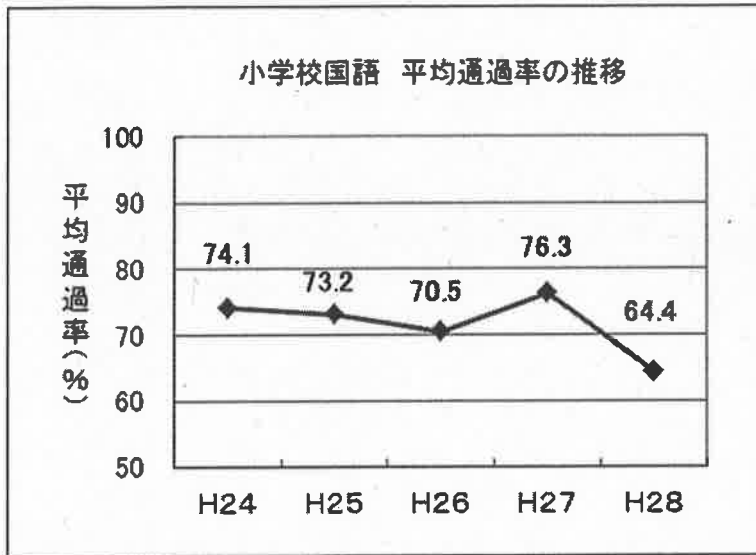
通過率 80%以上、60%以上、30%未満の児童生徒の割合の経年比較(タイプⅠの割合)

校種 教科	小学校			中学校				
	国語	算数	理科	国語	数学	理科	英語	
通過率 80%以上の割合	H25	43.7	26.1	16.7	41.2	37.3	3.9	42.8
	H26	34.8	46.4	45.4	40.5	40.5	16.2	35.8
	H27	51.4	52.7	22.1	45.4	45.0	8.2	31.2
	H28	22.8	44.4	21.0	34.9	30.5	12.8	36.7
通過率 60%以上の割合(%)	H25	78.4	65.8	51.3	74.4	68.3	21.3	69.8
	H26	76.3	79.2	79.9	73.0	71.0	41.7	66.0
	H27	82.6	80.1	66.7	82.2	72.3	26.6	66.3
	H28	59.1	74.2	60.2	68.5	64.2	32.8	66.2
通過率 30%未満の割合(%)	H25	3.7	4.6	10.8	3.3	8.0	36.2	6.1
	H26	4.0	2.7	3.5	2.9	6.2	11.7	5.6
	H27	3.1	2.1	4.5	1.6	6.5	20.0	5.1
	H28	5.0	3.9	3.4	5.2	6.3	19.1	3.9

2 各教科の調査結果の分析及び考察

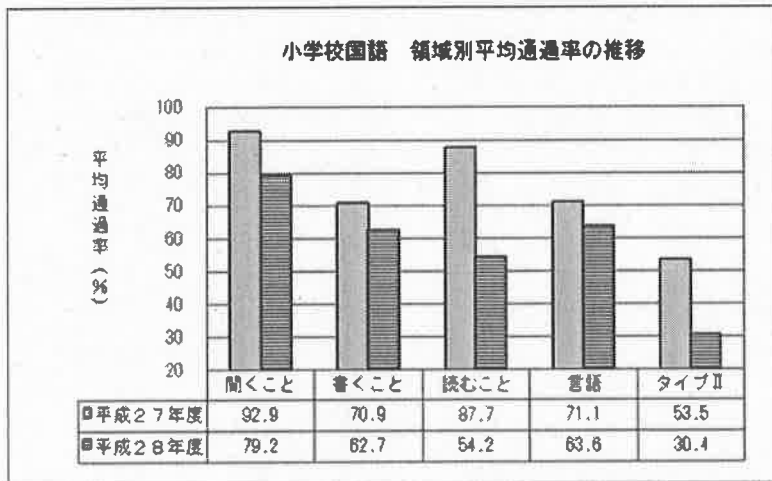
(1) 小学校国語

①



※ H25～28は、タイプI

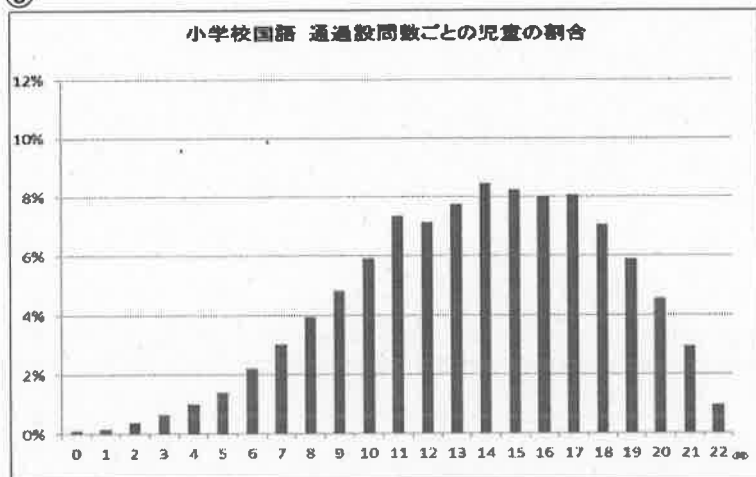
②



※ 言語：「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

※ タイプII：読むこと・書くこと

③



平成28年度平均通過率

タイプI 64.4%

タイプII 30.4%

教科全体 59.8%

① タイプIの平均通過率は、60%を超えているが、昨年度と比べ、11.9ポイント下がっている。

② 「聞くこと」の領域において平均通過率が、70%を超えているが、昨年度の平均通過率と比べ、「聞くこと」は13.7ポイント、「書くこと」は8.2ポイント、「読むこと」は33.5ポイント下がっている。

タイプIIにおいては、昨年度の平均通過率と比べ、23.1ポイント下がっている。

タイプ1の定着状況

指導改善のポイント

聞くこと

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 79.2%

書くこと

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 62.7%

◆ 課題

- ・ 目的に応じた記述【問題四2①】
設問別平均通過率 34.8%

◇ やや課題

- ・ 文章の敬体と常体の違い
【問題四2②】
設問別平均通過率 50.8%

- 書いた文章を読み返す習慣を身に付けさせるとともに、意味が分かりにくい文を接続語を使って複数の文に分けたり、二文を一文にしたりして、よりよい表現に書き直させることが大切である。
- 文章を記述するときは、相手や目的に応じて、敬体や常体を使い分けるとともに、敬体と常体が混在しないよう統一させることが大切である。

読むこと

定着が不十分

□ 領域の平均通過率 54.2%

◆ 課題

- ・ 段落相互の関係の把握【問題三6】
設問別平均通過率 50.0%
- ・ 中心となる語や文の把握【問題三7】
設問別平均通過率 25.4%

- 文章の内容を理解するために、それぞれの段落の内容をとらえ、段落がどのように結び付いているかを意識しながら読ませることが大切である。
- 中心となる語や文に着目して、要点をまとめたり、小見出しを付けたりするなどして、内容を整理させることが大切である。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 63.6%

◆ 課題

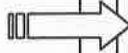
- ・ ローマ字の書き【問題二2①】
設問別平均通過率 40.5%
- ・ 第4学年の漢字の書き【問題三1①】
設問別平均通過率 51.1%
- ・ 主語・述語の関係【問題三4】
設問別平均通過率 39.4%

- ローマ字の指導では、五十音表の規則性をおさえ、音声と文字を関係付けながら表記させることが大切である。
- 漢字の指導については、帯時間等を活用し、繰り返し学習することで定着を図り、実際の生活の中で活用できるようにさせることが大切である。
- 主語と述語の照応関係を意識させるとともに、修飾と被修飾との関係を明確にし、文の構成について初歩的な理解ができるように指導することが大切である。

書くこと・読むこと

タイプIIの定着状況

- ◇ やや課題
 - ・文章の構成【問題五1構成】
設問別平均通過率 54.0%
- ◆ 課題
 - ・情報の取り出し・情報を関連付けた記述【問題五1情報】
設問別平均通過率 25.7%
 - ・情報の取り出し・理由や事例を挙げた記述【問題六1】
設問別平均通過率 11.4%

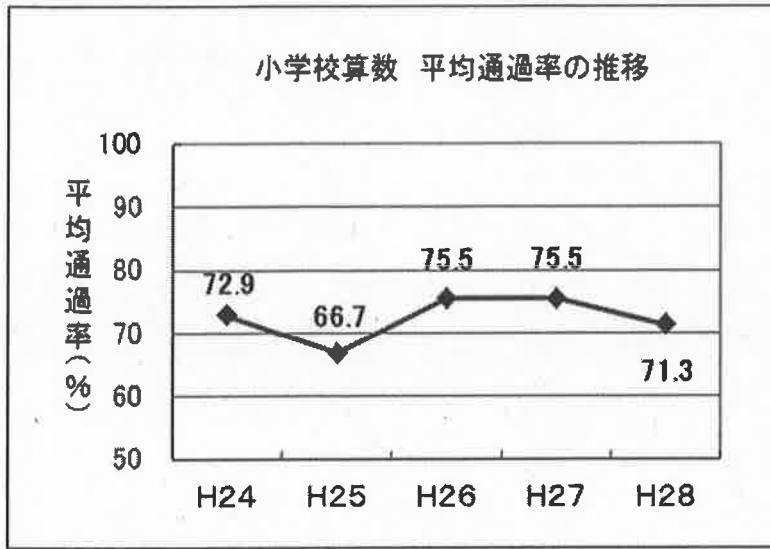


指導改善のポイント

- 事柄のまとまりを意識させ、段落相互の関係に注意して文章を構成させる指導を充実する。
- 複数の資料を取り上げ、その中から目的に応じて必要な情報を取り出し、関連付けて説明させる指導を充実する。
- 資料から必要な情報を取り出し、条件に応じた記述をさせる指導を充実する。

(2) 小学校算数

①



※ H25～28は、タイプI

平成28年度平均通過率

タイプI 71.3%

タイプII 50.3%

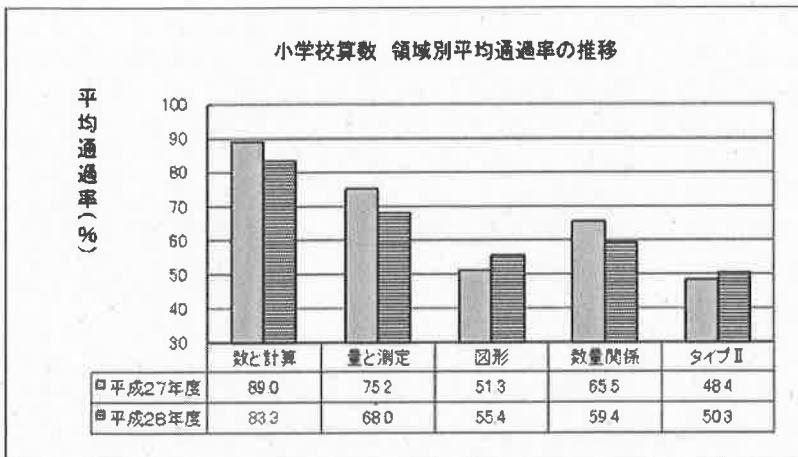
教科全体 66.3%

① タイプIの平均通過率は、昨年度と比べ、4.2ポイント下がっている。

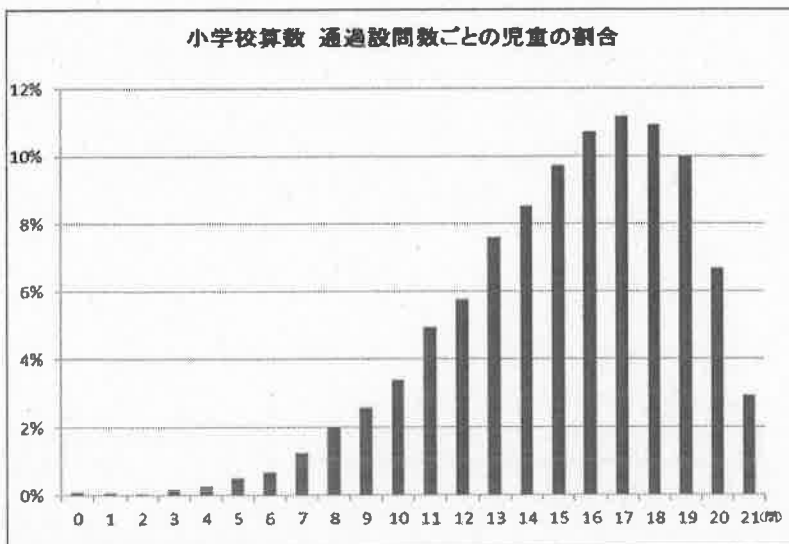
② 「数と計算」の平均通過率は、80%を超えている。

タイプIIの平均通過率は、昨年度より1.9ポイント上がっている。

②



③



タイプ1の定着状況

指導改善のポイント

数と計算

かなり定着
 領域の平均通過率 83.3%

量と測定

おおむね定着
 領域の平均通過率 68.0%
 ◆ やや課題
 ・ 複合図形の面積【問題 4】
 設問別平均通過率 58.9%

○ 複合図形の面積について、必要な線や辺の長さを書いたり、式にある数値が図形のどの部分の長さを表しているのかを確認したりするような指導を充実させる。

図形

定着が不十分
 領域の平均通過率 55.4%
 ◆ 課題
 ・ 直方体の辺に垂直な面【問題 6】
 設問別平均通過率 59.1%
 ・ ひし形の判断【問題 7】
 設問別平均通過率 47.9%
 ・ 三角形の作図【問題 8】
 設問別平均通過率 59.3%

○ 立方体や直方体について、観察したり、構成したり、分解したりする指導を充実させる。
 ○ 図形の性質について調べたり、図形の約束や性質に基づいて作図したり、弁別したりする指導を充実させる。

数量関係

定着が不十分
 領域の平均通過率 59.4%
 ◆ 課題
 ・ 一つの式で表す【問題 9】
 設問別平均通過率 51.8%

○ いろいろな場面や問題で式に表したり、式から場面や一般的な関係を読み取ったりする指導を充実させる。

タイプIIの定着状況

指導改善のポイント

数と計算・数量関係

◆ 課題

- ・ 目的に応じた計算結果の見積り

【問題 10 (1)】

設問別平均通過率 38.3%

- ・ 折れ線グラフと棒グラフの関連付け

【問題 10 (2)】

設問別平均通過率 38.0%

- 日常生活の事象の解決に、概数や概算を活用して、目的に応じて合理的かつ能率的に判断する学習を充実させる。

- 資料の目的に応じたグラフを選択させたり、項目の取り方や目盛りの付け方を検討させたり、複数のグラフを組み合わせたたりするなど、表やグラフの表し方について工夫させる活動を十分に行う。

量と測定・数と計算・図形

◎ かなり定着

- ・ 事象の観察と情報の選択

【問題 11 (1)】

設問別平均通過率 70.7%

◆ 課題

- ・ 平行四辺形の性質の利用

【問題 11 (2)】

設問別平均通過率 54.5%

- ・ 事象の解釈と根拠の説明

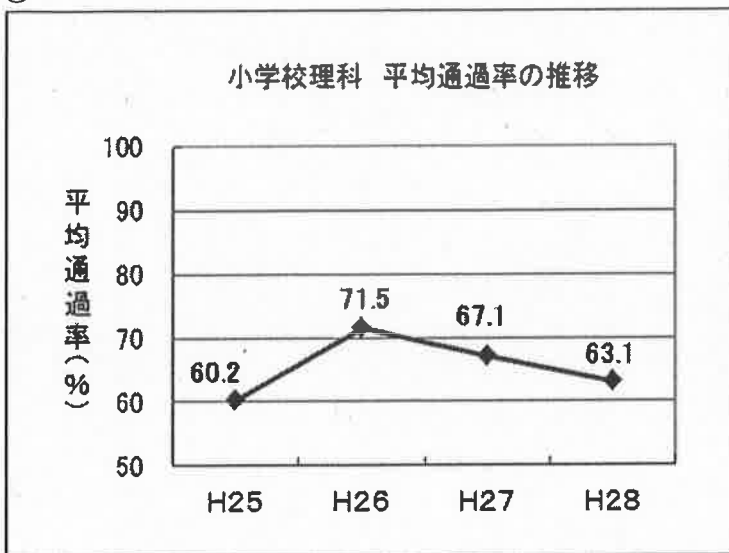
【問題 11 (3)】

設問別平均通過率 48.3%

- 与えられた条件をもとに、根拠を明らかにして論理的に考え、互いに自分の考えを表現し、どのように説明すれば他者に伝わるよりよい説明になるのかを検討する活動を積極的に取り入れる。

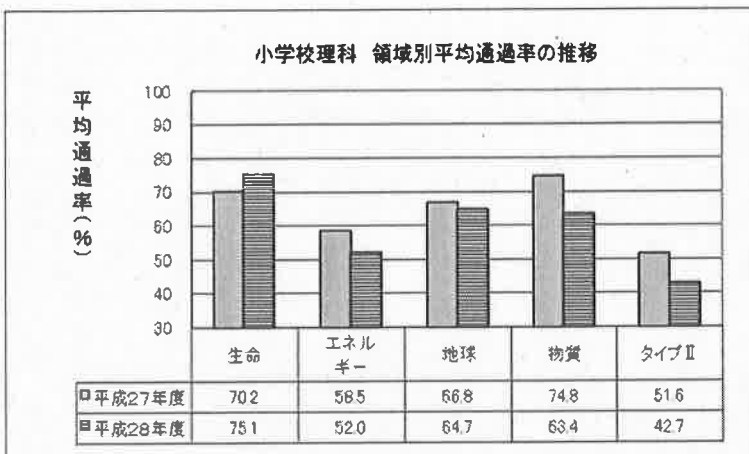
(3) 小学校理科

①

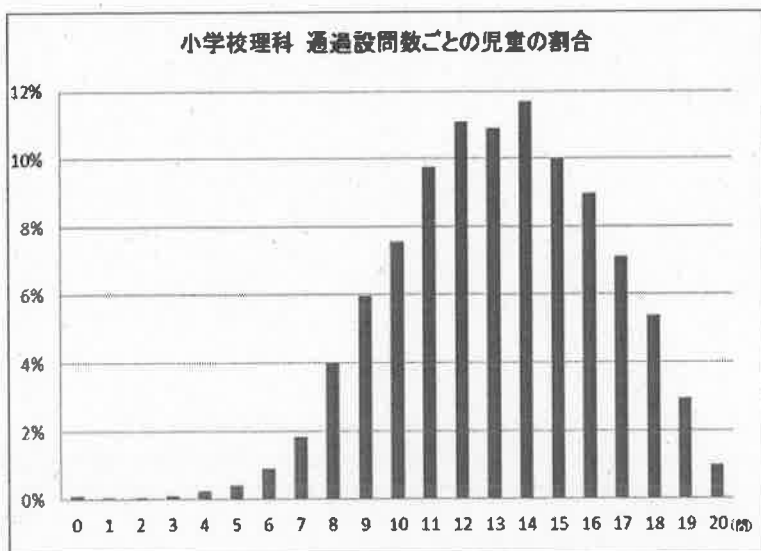


※ H25～28は、タイプⅠ

②



③



平成28年度平均通過率

タイプⅠ 63.1%

タイプⅡ 42.7%

教科全体 55.9%

① タイプⅠの平均通過率は、昨年度と比べ、4.0ポイント下がっている。

② 「生命」領域の平均通過率は、70%を上回っている。「エネルギー」領域の平均正答率が60%を下回っている。

タイプⅡの平均通過率は、昨年度より8.9ポイント下がっている。

タイプ1の定着状況

指導改善のポイント

生命

おおむね定着
□ 領域の平均通過率 75.1%

エネルギー

定着が不十分
□ 領域の平均通過率 52.0%
◆ 課題
・直列つなぎの回路のつなぎ方
【問題 4(1)】
設問別平均通過率 45.1%

○ 直列つなぎと並列つなぎのつなぎ方と、モーターが回る速さ、電流の強さを関係付けてとらえることができるようにする。
○ つなぎ方を図で表し、適切に記録する活動を設けるとともに、電気の流れに沿って指でなぞるなど、直列つなぎと並列つなぎを比較しながら丁寧に確認する活動も設ける。

地球

おおむね定着
□ 領域の平均通過率 64.7%
◆ 課題
・太陽と地面の様子
【問題 7(4)】
設問別平均通過率 49.8%

○ 日なたと日陰の地面を実際に触り比較しながら温度の違いを体感する場を設けるとともに、時間を変えて定量的に調べることで、地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気の違いがあることをとらえることができるようにする。

物質

おおむね定着
□ 領域の平均通過率 63.4%
◆ 課題
・物の重さのはかり方
【問題 1(1)】
設問別平均通過率 41.2%

○ 粘土や砂など身の回りにある異なる物の重さを比べる際、体積を同じにし条件を整えて比較すればよいことに児童自ら着目することができるようになるとともに、はかり等で数値化したデータをもとに、物は同じ体積でも物の種類が違くと重さが違うことがあることをとらえられるようにする。

タイプIIの定着状況

指導改善のポイント

生命

◆ 課題
・昆虫と周辺の環境
【問題 5 (2)】
設問別平均通過率 44.6%

○ どの昆虫が、どこで何をしていたのかという複数の種類の昆虫を観察した結果をもとに、その周囲の環境とのかかわりを考え、環境とのかかわりの中でそれに適した姿、形で生きていることをとらえることができるようにする。

エネルギー

◆ 課題
・物質の磁石と電気に対する性質
【問題 3 (2)】
設問別平均通過率 34.4%

○ 電気や磁石などの性質を活用したものづくりを設定するとともに、極の性質や電気の性質をどのように利用したものであるのかを、自分が作ったものだけでなく、他者が作ったものについても説明する場を設ける。

地球

◆ 課題
・太陽の動きと影の関係
【問題 7 (1)】
設問別平均通過率 16.9%

○ 日陰の位置の変化と太陽の動きを比較した観察を通して明らかとなった規則性について、日常生活場面に置き換えた問いを行うことで、学習したことを適用して現象について推測したり、説明したりする場を設ける。

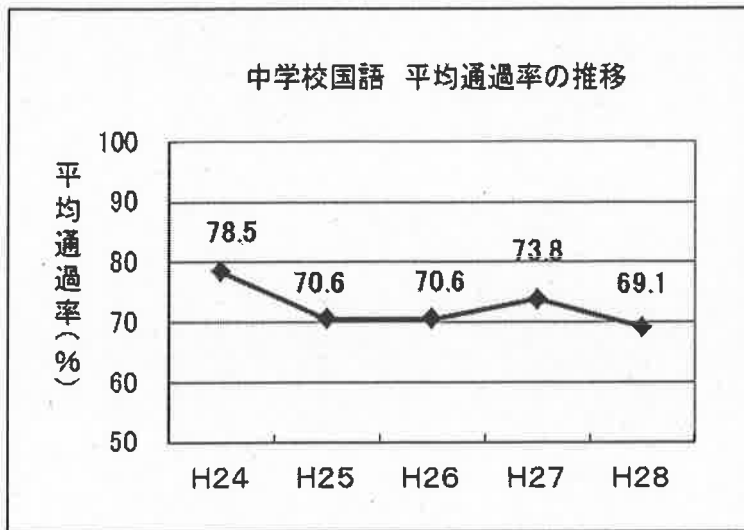
物質

◆ 課題
・物の重さと体積の関係
【問題 1 (2)】
設問別平均通過率 45.7%

○ 体積を揃えて重さを比べ、体積が同じでも物によって重さに違いがあることをとらえた後、重さを揃えた場合では、体積はどのようになるか等、文脈を変えた問いを意図的に行うことで学習したことを適用して考え、物の重さと体積の関係について正しくとらえることができるようにする。また、市販の食塩と砂糖の1kgの体積を比べるなど、日常生活との関連を図り、実感を伴い理解できるようにする。

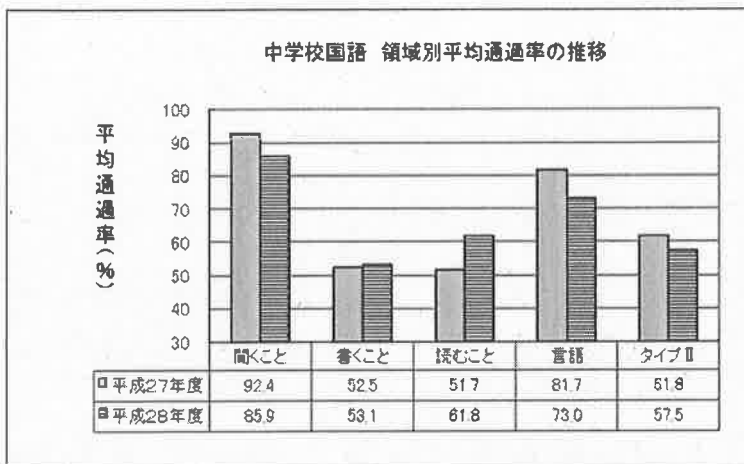
(4) 中学校国語

①



※ H25~28は、タイプI

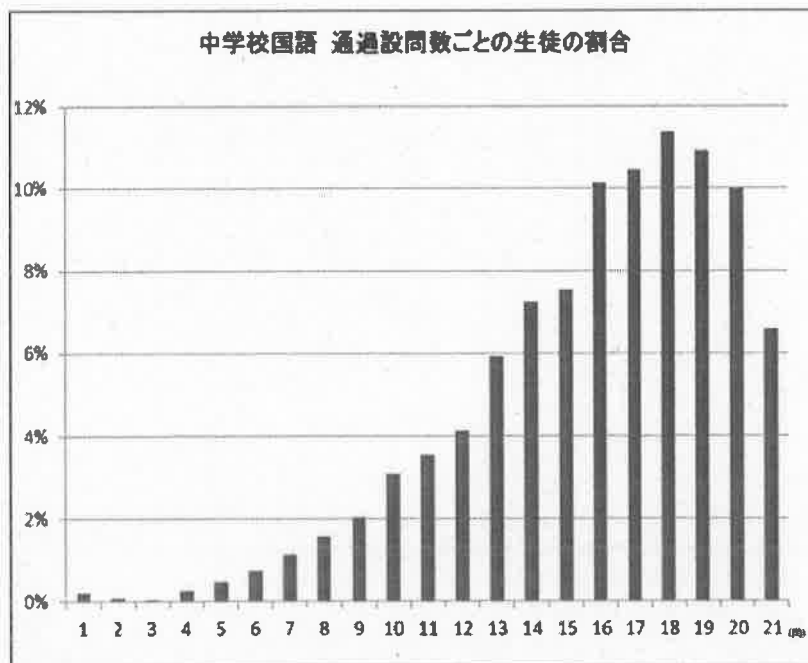
②



※ 言語：「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

※ タイプII：読むこと・書くこと

③



平成28年度平均通過率

タイプI 69.1%

タイプII 57.5%

教科全体 66.9%

① タイプIの平均通過率は、70%を下回り、昨年度と比べ、4.7ポイント下がっている。

② 「聞くこと」の平均通過率は、80%を超えている。

昨年度の平均通過率と比べ、「書くこと」は0.6ポイント、「読むこと」は10.1ポイント上がっているが、「聞くこと」は6.5ポイント、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は8.7ポイント下がっている。

タイプIIの平均通過率は、昨年度と比べ、4.3ポイント下がっている。

タイプ1の定着状況

指導改善のポイント

聞くこと

かなり定着

□ 領域の平均通過率 85.9%

書くこと

定着が不十分

□ 領域の平均通過率 53.1%

◆ 課題

- ・ 叙述の仕方の確認【問題四3】
設問別平均通過率 26.2%
- ・ 伝えたい事実の明確な記述【問題四1】
設問別平均通過率 59.7%

読むこと

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 61.8%

◆ 課題

- ・ 要旨の把握【問題三5】
設問別平均通過率 52.8%
- ・ 段落相互の関係の把握【問題三3】
設問別平均通過率 54.0%

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 73.0%

◆ 課題

- ・ 小5の漢字の読み【問題三1④】
設問別平均通過率 52.6%
- ◇ やや課題
- ・ 小6漢字の書き【問題三1②】
設問別平均通過率 67.0%
- ・ 主語・述語の関係【問題二2(3)】
設問別平均通過率 67.4%
- ・ 小6漢字の書き【問題三1③】
設問別平均通過率 69.2%

- 主述の正しい文とねじれのある文とを比較するなどして、主述の関係を正しく理解する指導を充実させる。
- 説明や記録の文章を書く際には、目的や意図に応じて図表などを用いるとともに、図表などの中から必要な情報を取り上げて適切に記述する指導を充実させる。

- 資料の内容をまとめたり、自分の言葉で言い換えたりした際に、資料の内容を適切に取り上げているか、確認する活動を充実させる。
- 段落ごとの内容をまとめ、文章全体における各段落の役割について考える活動を充実させる。

- 漢字の読み書きについては、定着を図るために、機会をとらえて繰り返し学習することが必要である。
- 主語・述語の定義を理解するとともに、主語と述語の関係をとらえることを繰り返し取り上げ、正しく伝えるための文法の指導を充実させる。

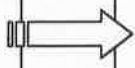
読むこと・書くこと

タイプIIの定着状況

- ◎ 定着
 - ・情報の取り出し【問題五1(2)】
設問別平均通過率 80.9%
- ◆ 課題
 - ・根拠に基づいた考えの記述【問題五2(2)】
設問別平均通過率 33.1%
 - ・目的に応じた引用【問題五2】
設問別平均通過率 54.6%
 - ・情報の取り出し【問題五1(1)】
設問別平均通過率 61.6%

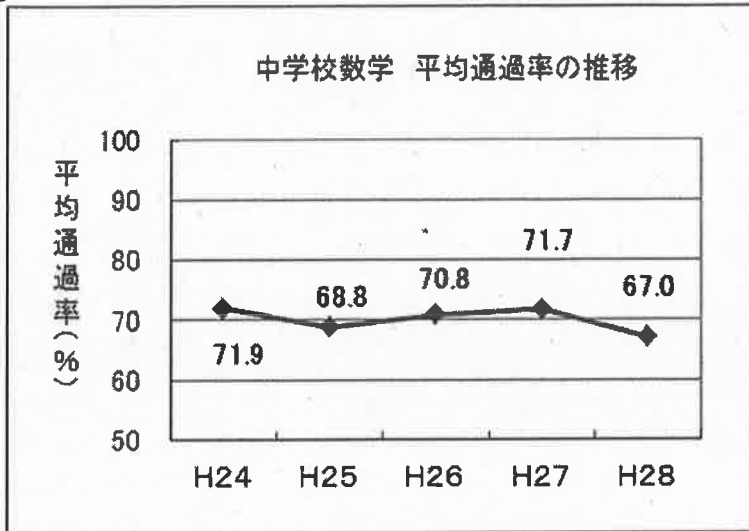
指導改善のポイント

- 複数のテキスト（連続型テキスト、非連続型テキスト）から情報を取り出し、それらを根拠にして考え、考えたことを書いたり、話したりするなどの方法で表現する活動を充実させる。
- 資料から取り上げた事実や事柄を根拠に、自分の考えを書く学習において、文章を書いた後に、根拠と考えの整合性について、見直し検討する活動を充実させる。



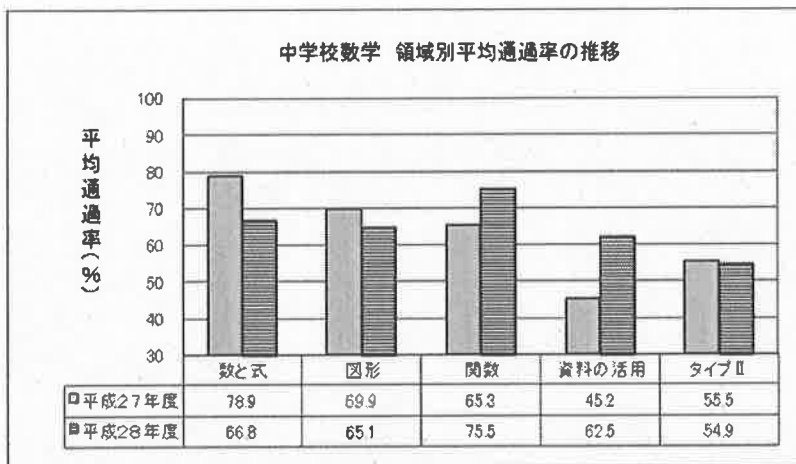
(5) 中学校数学

①



※ H25~28は、タイプI

②



平成28年度平均通過率

タイプI 67.0%

タイプII 54.9%

教科全体 64.3%

① タイプIの平均通過率は、70%を下回り、昨年度と比べ、4.7ポイント下がっている。

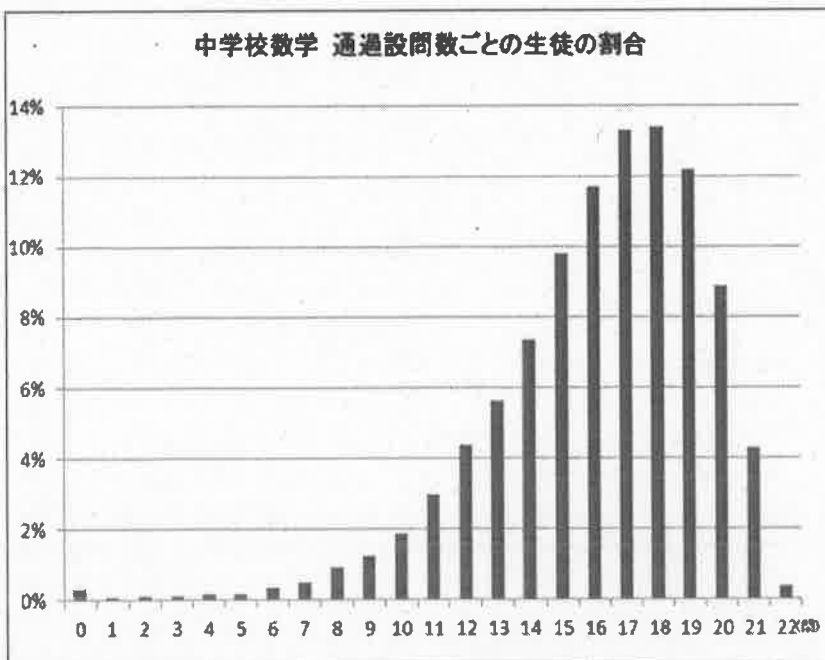
② 「関数」の平均通過率は、70%を超えている。

昨年度の平均通過率と比べ、「関数」は10.2ポイント、「資料の活用」は17.3ポイント上がっているが、「数と式」は12.1ポイント、「図形」は4.8ポイント下がっている。

タイプIIの平均通過率は、昨年度に比べ、0.6ポイント下がっている。

※ タイプII (H25): 図形・関数・資料の活用
 タイプII (H26): 数と式・関数・資料の活用
 タイプII (H27): 図形・関数・資料の活用
 タイプII (H28): 図形・関数・資料の活用

③



タイプ1の定着状況

指導改善のポイント

数と式

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 66.8%

◆ 課題

- ・文字式の表し方【問題 2 (2)】
設問別平均通過率 32.9%
- ・文字式の表し方【問題 2 (1)】
設問別平均通過率 36.4%
- ・関係を文字式で表す【問題 8】
設問別平均通過率 59.2%

◇ やや課題

- ・文字式の読み【問題 3】
設問別平均通過率 64.0%
- ・分数の除法【問題 1 (3)】
設問別平均通過率 65.0%

- 数量の関係を図や表と関連付けて考えたり言葉の式で表したりするとともに、それを利用して、文字式に表し、その式の意味を考察する指導を充実させる。
- 基礎的な計算技能の確実な習得のための反復練習を充実させる。

図形

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 65.1%

◆ 課題

- ・作図の根拠【問題 4】
設問別平均通過率 54.0%

◇ やや課題

- ・球の体積【問題 5 (1)】
設問別平均通過率 67.5%

- 個々の手順によってできる点や線分の特徴を図形の性質と関連付けて理解する指導を充実させる。
- 具体物を用いて、図形に関する観察や操作的な活動、実験などを取り入れ、空間図形に対する直感的な見方や考え方を深める指導を充実させる。

関数

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 75.5%

資料の活用

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 62.5%

◇ やや課題

- ・中央値の意味【問題 7 (1)】
設問別平均通過率 60.1%
- ・相対度数の意味【問題 7 (2)】
設問別平均通過率 64.9%

- 度数（相対度数）、階級（階級値）、代表値などの数学用語を理解することの指導を充実させる。

タイプIIの定着状況

指導改善のポイント

図形

◎ 定着
・事象の図形的な考察
【問題 9】
設問別平均通過率 81.1%

関数

◆ 課題
・事象の解釈と表現
【問題 10 (2)】
設問別平均通過率 36.2%
・事象の解釈と問題解決の方法
【問題 10 (1)】
設問別平均通過率 50.8%

○ 比例を利用して、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明できるようにする活動を充実させる。

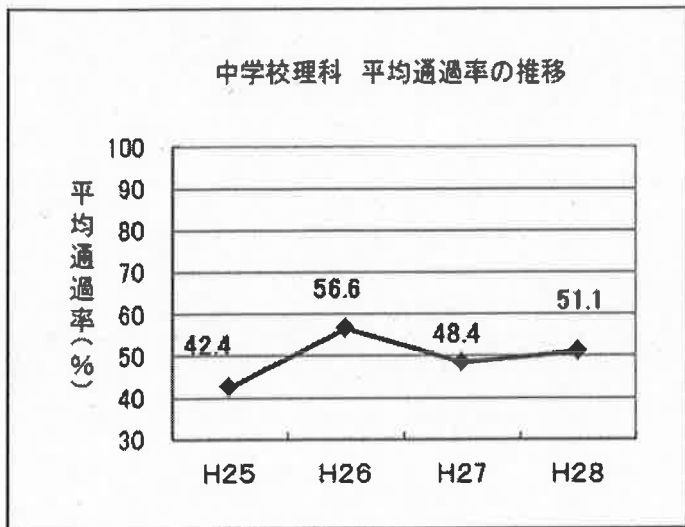
資料の活用

◆ 課題
・情報の適切な選択と判断
【問題 11 (2)】
設問別平均通過率 51.0%
・情報の適切な選択と判断
【問題 11 (1)】
設問別平均通過率 55.6%

○ 日常生活を題材とした問題を取り上げ、それを解決するために必要な資料を収集し、コンピュータなどを利用してヒストグラムを作成したり代表値を求めたりして資料の傾向をとらえ、その結果を基に説明するという一連の活動を経験できるようにする指導を充実させる。

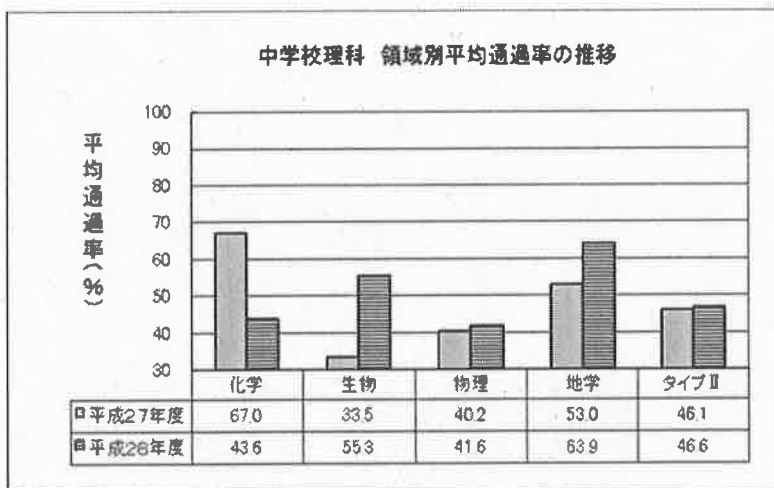
(6) 中学校理科

①



※ H25～28は、タイプI

②



平成28年度平均通過率

タイプI 51.1%

タイプII 46.6%

教科全体 49.2%

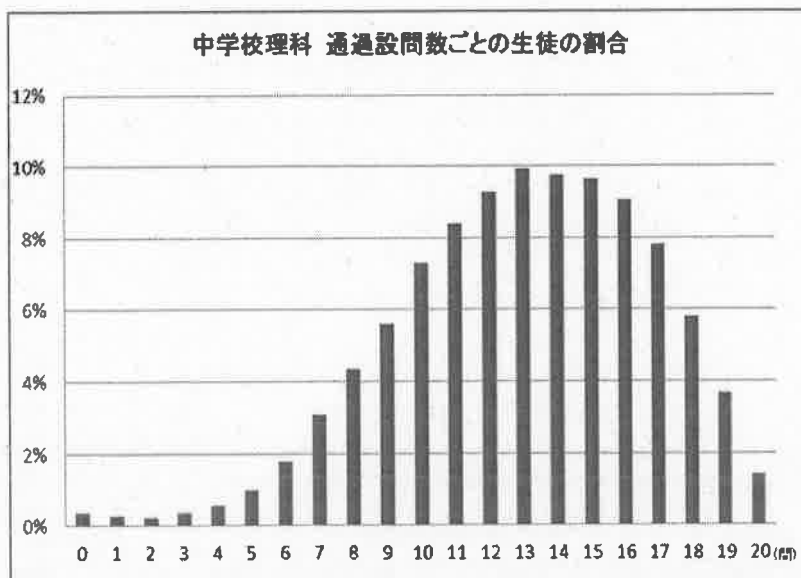
① タイプIの平均通過率は、50%を上回り、昨年度と比べ、2.7ポイント上がっている。

② 「地学」の平均通過率は、60%を上回っている。

昨年度の平均通過率と比べ、「生物」は21.8ポイント、「物理」は1.4ポイント、「地学」は10.9ポイント上がっているが、「化学」は23.4ポイント下がっている。

タイプIIの平均通過率は、昨年度に比べ、0.5ポイント上がっている。

③



タイプ1の定着状況

指導改善のポイント

化学

定着が不十分

□ 領域の平均通過率 43.6%

◆ 課題

・液体の混合物を分離する方法

【問題 4 (3)】

設問別平均通過率 19.9%

・ガスバーナーの使い方

【問題 4 (1)】

設問別平均通過率 50.2%

- 実験を通して、蒸留の意味を理解させ、物質の沸点と分離して取り出された物質を関係付ける学習活動を充実させる。
- 自然の事物・事象を観察する中で、対象や目的に応じた操作を繰り返し行い、技能の習得を図る学習活動を充実させる。

生物

定着が不十分

□ 領域の平均通過率 55.3%

◆ 課題

・シダ植物の体のつくり

【問題 6 (1)】

設問別平均通過率 50.7%

・ルーペの使い方【問題 6 (2)】

設問別平均通過率 55.5%

・根の様子による分類【問題 5 (2)】

設問別平均通過率 59.8%

- 観察を行う際に、観察の視点を示したり、比較させたりすることで、植物の特徴や共通点を見出させる学習活動を充実させる。
- 自然の事物・事象を観察する中で、対象や目的に応じた操作を繰り返し行い、技能の習得を図る学習活動を充実させる。

物理

定着が不十分

□ 領域の平均通過率 41.6%

◆ 課題

・力の表し方【問題 2 (2)】

設問別平均通過率 13.9%

・質量【問題 2 (1)】

設問別平均通過率 31.4%

- 作用点を意識させて力を矢印で表す学習活動を充実させる。
- 実験を通して、質量と重さの違いに気付かせ、その意味を理解させる学習活動を充実させる。

地学

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 63.9%

タイプIIの定着状況

指導改善のポイント

化学

◆ 課題

- ・溶質の再結晶【問題 3 (2)】
設問別平均通過率 16.9%
- ・実験結果を分析・解釈して、結論を導き出す【問題 4 (4)】
設問別平均通過率 31.6%

- 実験を通して、溶解度の意味を理解させ、溶解度曲線を用いて水溶液から溶質を取り出す方法を説明させる学習活動を充実させる。
- 実験結果から「分かること」と「分からないこと」を区別する学習活動を充実させる。

生物

◆ 課題

- ・単子葉類と判断する根拠【問題 5 (1)】
設問別平均通過率 15.9%

- 1つの特徴のみに着目するのではなく、単子葉類の様々な特徴を基に総合的に判断させたり、根拠をもって考察させたりする学習活動を充実させる。

物理

◆ 課題

- ・目的に正対した考察【問題 2 (3)】
設問別平均通過率 49.4%

- 実験結果を考察する際に、自分の考察を振り返ったり、他者の考察を協働で検討して改善したりする学習活動を充実させる。

地学

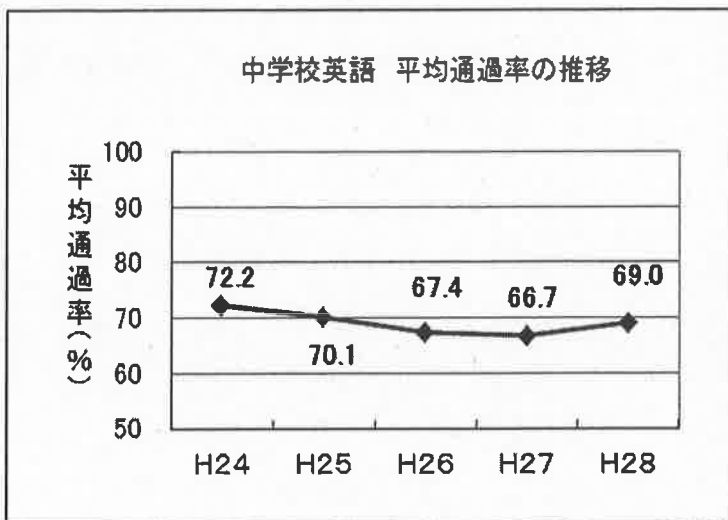
◆ 課題

- ・磁針の記録による震源距離の推定【問題 7 (3)】
設問別平均通過率 42.8%
- ・地層の重なり方【問題 8 (2)】
設問別平均通過率 44.3%

- 同一の地震において、震源から異なる距離の観測記録を分析し解釈して震源の場所を推定させ、科学的な言葉や概念を用いて、根拠に基づいた考察を説明させる活動を充実させる。
- 地層の観察記録を分析し解釈して、これまでの堆積時期について推定し、根拠に基づいた考察をする学習活動を充実させる。

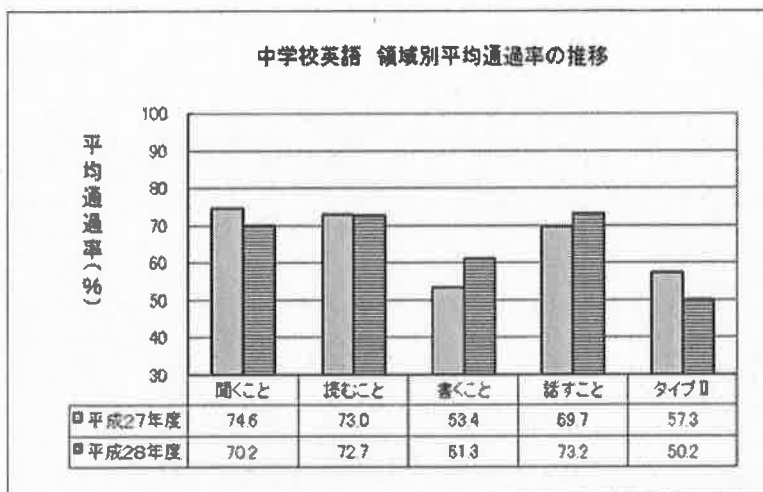
(7) 中学校英語

①



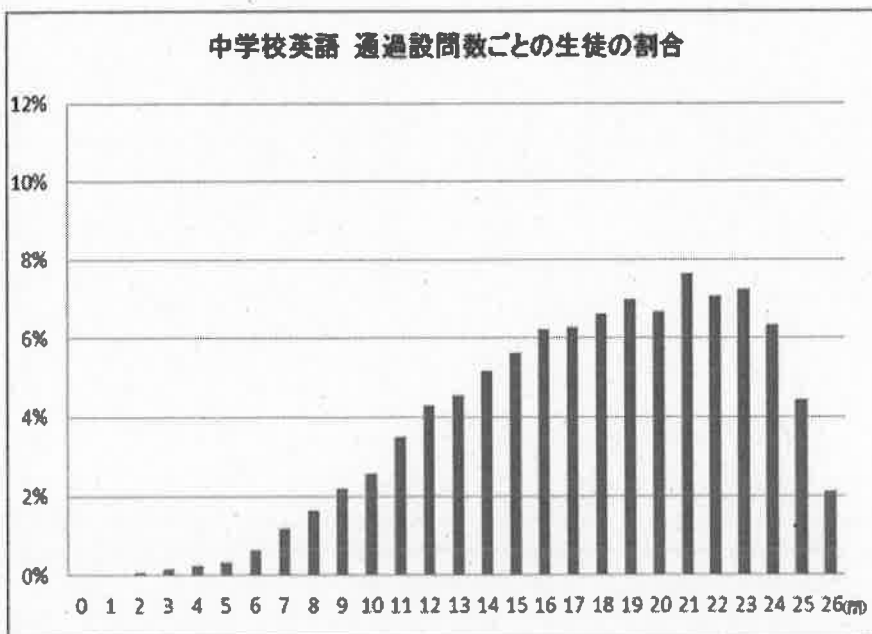
※ H25～28は、タイプI

②



※ タイプII：読むこと・書くこと

③



平成28年度平均通過率

タイプI 69.0%

タイプII 50.2%

教科全体 66.1%

① タイプIの平均通過率は、70%を下回っているが、昨年度に比べ、2.3ポイント上がっている。

② 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」の平均通過率は、70%を超えている。

昨年度の平均通過率と比べ、「書くこと」は7.9ポイント、「話すこと」は3.5ポイント上がっているが、「聞くこと」は4.4ポイント、「読むこと」は0.3ポイント下がっている。

タイプIIの平均通過率は、昨年度と比べ、7.1ポイント下がっている。

タイプ1の定着状況

指導改善のポイント

聞くこと

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 70.2%

◆ 課題

- ・英語での問いかけに対する適切な応答【問題 1 2】
設問別平均通過率 49.3%
- ・概要や要点の把握【問題 4 2】
設問別平均通過率 53.0%

- まとまりのある英文や会話から、情報を正しく聞き取る活動を充実させる。
- 曜日や数字などの基本的な単語や表現を正しく聞き取ったり聞き分けたりする活動を充実させる。

読むこと

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 72.7%

◆ 課題

- ・話の流れの理解【問題 8】
設問別平均通過率 52.9%
- ◇ やや課題
- ・適切な文を用いた会話文の組み立て【問題 7 1】
設問別平均通過率 68.8%

- 会話や物語を読み、話の流れや概要を説明するなどの活動を充実させる。
- 代名詞や接続詞などを活用して話の流れや文と文のつながりを意識して書く活動を充実させる。

書くこと

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 61.3%

◆ 課題

- ・基本的な文のきまりを理解した作文【問題 6 2②・1】
設問別平均通過率 47.9%・55.1%
- ・会話の場面に応じて適切に英文を書く【問題 10 2】
設問別平均通過率 53.6%
- ・自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書く【問題 9】
設問別平均通過率 55.8%

- 語順や文のきまりを正しく用いて英文を書く活動を充実させる。
- 会話やまとまりのある英文を読み、内容を正しく理解し、場面に合わせて適切に応じる指導を充実させる。
- 文と文のつながりに注意し、まとまりのある英文を書く活動を充実させる。

話すこと

おおむね定着

□ 領域の均通過率 73.2%

◆ 課題

- ・自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す【実技3】
設問別平均通過率 35.6%
- ◇ やや課題
- ・自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す【実技2】
設問別平均通過率 61.6%

- 質問に対して、自分の考えや気持ち、事実などを正しく説明する活動を充実させる。

タイプIIの定着状況

◆ 課題

- ・適切な質問を考え英文を書く

【問題 11 1】

設問別平均通過率 29.9%

- ・根拠となる英文の読み取り

【問題 11 2】

設問別平均通過率 48.8%

- ・まとまりのある一貫した英語の文章を書く【問題 12】

設問別平均通過率 60.1%

◇ やや課題

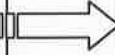
- ・情報を基にした概要や要点の理解

【問題 11 3】

設問別平均通過率 61.7%

指導改善のポイント

- 英文やグラフ・図などの複数の情報を関連付けて考えたり、そこから必要な情報を適切に読み取ったりする活動を充実させる。
- 英文を読んで、読み取った情報から場面や状況を理解し、状況に応じて適切な英文を用いて自分の考えなどを伝える活動を充実させる。
- ある程度の長さの会話文や英文を読み、要点や概要をまとめたり伝えたりする活動を充実させる。



3 生活と学習に関する意識・実態調査と通過率との関連

生活と学習に関する意識・実態調査の設問項目と教科合計の平均通過率との関連を調べるために、クロス集計を行い、質問紙調査の回答類型ごとに、児童生徒の教科合計の平均通過率を算出し、設問項目と通過率との相関が顕著なものを抽出して考察を示した。

教科合計の平均通過率

小学校：国語、算数及び理科の3教科合計の平均値（太字）

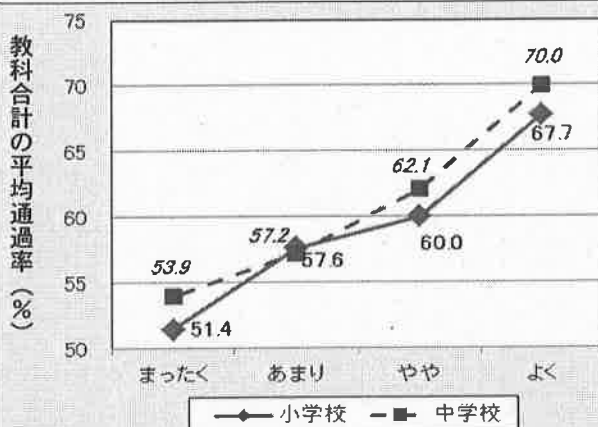
中学校：国語、数学、理科及び英語の4教科合計の平均値（斜体）

(1)「生活習慣」と通過率との関係

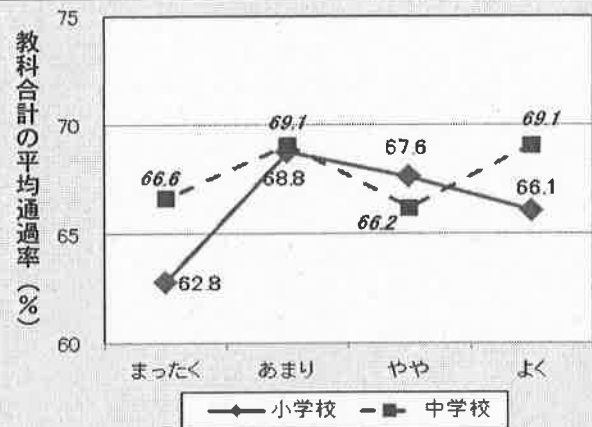
早寝・早起き・元気な
あいさつ・朝ご飯！

基本的な生活習慣が身に付いている児童生徒ほど、通過率が高い傾向がある。

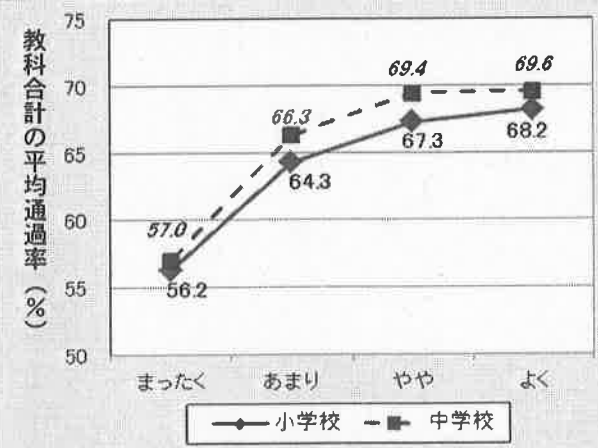
(2)毎日朝食を食べています。



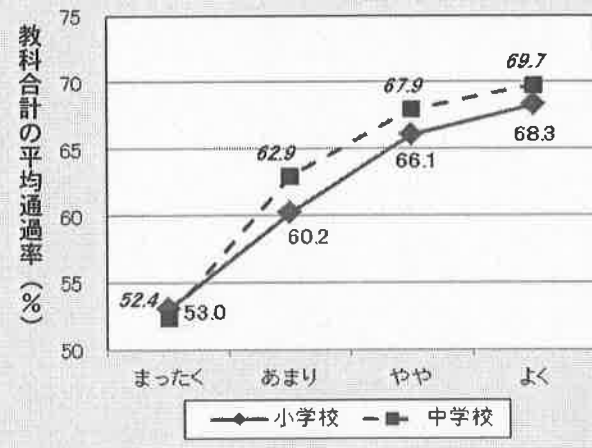
(5)外に出て遊んだり、運動をしたりして体を動かしています。(中学生は、部活動を含む。)



(3)ふだん(月曜日～金曜日)、同じくらいの時刻に寝ています。



(4)ふだん(月曜日～金曜日)、同じくらいの時こくに起きています。



○ 基本的な生活習慣に関する設問について、肯定的な回答をした児童生徒の方が、通過率が高い傾向が見られる。

「毎日朝食を食べています」という設問について、「よくあてはまる」と回答した児童生徒は、「まったくあてはまらない」と回答した児童生徒より、平均通過率が小学校第5学年で16.3ポイント、中学校第2学年で16.1ポイント高い。